

2020年度 JICA 地球ひろば 国際理解教育/開発教育指導者研修

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	田中 豪	学校名	神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	3年2組（32名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和2年10月～11月（2時間）		

## 【実施概要】

1. 単元名（活動名）：難民について考えよう。					
2. 実践する教科・領域：	3. 学習領域				
総合的な学習の時間		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
・難民の置かれている状況を理解し、自身との共通点や違いに気づく。					
・絵本「島 よくある物語」を読み、ジブンゴトとして捉え、他者の考えを聞きながら自身の難民に対する考え方を深める。					
5. 単元の評価規準	①知識及び技能	難民の置かれている現状を理解できる。			
	②思考力、判断力、表現力等	「島 よくある物語」の内容を自身に置き換えて、ジブンゴトとして考えて、考えを発表できる。			
	③学びに向かう力	他者の考えを傾聴し、その考え方を尊重しつつ、自身の考えを深めることができる。			

<p><b>6. 単元設定の理由・単元の意義</b>  <b>(児童／生徒観、教材観、指導観)</b></p>	<p><b>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</b></p> <p><b>[理由]</b></p> <p>学校がある茅ヶ崎市は2020年開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックの「北マケドニア共和国」のホストタウンである。この国について、学校でも取り扱おうとして調べていたところ、北マケドニア共和国はコソボ紛争時の「難民」流入が歴史を語る上で大切な一部であることがわかった。「難民問題」は多文化共生社会や平和実現には決して避けては通れない道だと考えており、生徒たちにも「難民問題」に対しての自身の考えを持ってもらいたいと考え、本単元を設定した。</p> <p><b>[意義]</b></p> <p>世界規模で問題となっている「難民問題」に対して、日本の難民認定率はわずか0.4%（2019年）と非常に低い数字となっており、その一つの要因に日本における「難民問題」の認知率の低さがあげられている。そこで、今後、社会へ進出する高校生に対して題材として取り扱う意義は非常に大きなものであると考えている。</p> <p><b>【児童／生徒観】</b></p> <p>国際理解教育/開発教育については、学校規模としてはあまり実施できていないため、SDGs等についても深く知らない生徒が多く在籍している。</p> <p><b>【教材観】</b></p> <p>絵本（「島 よくある物語」）を題材として取り扱うため、内容が理解しやすく、ジブンゴトとして捉えやすい内容である。</p> <p>「島 よくある物語」内容      &lt;解説&gt;</p> <p>島民たち男を受け入れたものの、この男をどうすればいいか、そのことをめぐって島内で争いが起こる。この争いは現在、多くの国々で実際に起こっている争いと同じだ。EU各国で進行中の争いである。この男の面倒を見るかどうか、見るとしたらどうやって見るか？男を働かせるべきか、もし働かせるとしたらどのように働くか？本書で浜に打ち上げられたのは一人だけだったが、それでも不安は広まった。この不安は、漂着した男が自分で広めたものではない。男は一言も発していない。何も求めていないし、自分の運命について一言も嘆いていない。男は島に着いただけだ。だが島民が不安に襲われたことに変わりはない。不安の対象は男。島民たちは自分の子どももおどす。本書のタイトルは『島』である。そしてこれはサブタイトルにあるように「よくある物語」である。毎日、何千人、何万人という人たちの身に起こっている、よくある物語である。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>絵本というツールで「難民問題」に対するハードルを下げ、「知る→考える→共有する→考える」という学習過程を通して、多くの生徒が「難民問題」を含めた世界の諸問題に対する自身の考えを持つ、または深めるきっかけ作りになれば良い。</p>
---	---

## 7. 単元計画（全2時間）

※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更してください。

時	ねらい	学習活動	資料など ※：JICAリソース活用はここに記載
1	難民の置かれている現状を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国を逃れる人々」を視聴する。</li> <li>・ワークショップ「日本にいる難民について考えてみよう」</li> <li>・ワークシートに記入する。</li> </ul>	<p>「日本にいる難民について考えてみよう」DEAR      「国を逃れる人々」      JICA      ワークシート</p>

2 本時	絵本「島 よくある物語」を読み、ジブンゴトとして捉え、他者の考えを聞きながら自身の難民に対する考え方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「島 よくある物語」を読む。</li> <li>・班で自身の考えを共有する。</li> <li>・ワークシートに記入する。</li> </ul>	<b>「難民選手団写真」</b> UNHCR 「島 よくある物語」
---------	---	--	---

## 8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：絵本「島 よくある物語」を読み、ジブンゴトとして捉え、他者の考えを聞きながら自身の難民に対する考え方を深める。

※過程の網掛け部分は適宜変更下さい。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	<p><b>I. フォトランゲージ</b></p> <p>「なぜ、国が違うのに同じチームとして入場しているのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その国の選手として出る権利がない。</li> <li>・難民として出場している。</li> </ul> <p>「前時の、『難民の申請者数と認定人数について何を感じますか。』という問い合わせの回答を見てみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の認定人数は少なすぎる。</li> <li>・この程度の方がよい。</li> </ul>	<p>「難民」という言葉を引き出し、前時の復習をする。</p>	<b>難民選手団写真</b> UNHCR  前時のワークシート結果
展開 (40分)	<p><b>2. 「島 よくある物語」を班ごとに読む。</b></p> <p>「『島 よくある物語』」を読みましょう。役割を決めてください。」</p> <p>役割：男、島民、漁師、ナレーター</p> <p>&lt;あらすじ&gt;</p> <p>島に漂着した男は、島民たちと異なる姿であった。その男を受け入れることにした島民たちだが、誰もその男に関わろうとはせず、仕事を与える者もいなかつた。やがて、男の存在自体を不安に感じるようになつた島民たちは男を隔離し、ついには波間に突き飛ばしてしまう。</p> <p>&lt;主な登場人物&gt;</p> <p>①男：島に漂着した男は、一度は島民に受け入れられたものの、姿が異なることから島民に怖がられてしまう。</p> <p>②島民：男を「すぐに追い払うのが一番だ。」と発言するなど、男を受け入れるつもりはなかったものの、漁師の働きかけで一度は男を受け入れた。しかし、徐々に男の存在に不安を感じ、最終的には殺してしまう</p>	<p>ワークシート結果に左右されず、自身の考えをもつ大切さを伝える。</p>	<p>「島 よくある物語」</p> 

<p>まとめ (5分)</p>	<p>う。</p> <p>③漁師：男を受け入れるように仕向けた張本人で、「男が島にいる限り、ほいたらかしにしていいわけはない。みんなして助けねば。」と発言するなど、男を助けようと島民たちを説得するが、最終的にはその考えは理解されず、島民たちに仕事道具である舟を焼かれてしまう。</p> <p><b>3. ワークシート記入</b></p> <p>「島民のとった行動を自分自身に照らし合わせながら考えてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているので、受け入れてあげたかった。</li> <li>・よそ者は何をしでかすかわからないので、受け入れたくない。</li> </ul> <p>「男を自分自身に置き換え、男の気持ちについて考えてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っていたので、島民に受け入れてほしかった。</li> <li>・同じ、人間なのにどうしてこんなにもひどい扱いを受けなければならないのか。</li> </ul> <p>「この物語は難民について描かれている絵本です。みなさんはこれまでの学習を経て、難民の支援に賛成ですか。反対ですか。理由も含めて考えてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成－困っている人を助けたい。</li> <li>・反対－治安等の悪化が心配である。</li> </ul> <p>「みなさんは難民問題に対して何か今後してみたいことはありますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募金する。</li> <li>・深く学ぶ。</li> <li>・今回のことを忘れずにいる。</li> </ul> <p><b>4. 班で共有する。</b></p> <p>「ワークシートの内容を班で共有しましょう。」</p> <p><b>5. 振り返り</b></p> <p>「友だちの考えに触れた結果、何を感じましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難民受け入れに関する考えは多種多様である。</li> <li>・みんなの小さな行動が、いずれ世界をよりよくする。</li> </ul>	<p>島民のとった行動の根底に考えを感じ取させる。</p>	<p>ワークシート</p>
---------------------	--	-------------------------------	---------------

## 9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

### 【思考力・判断力・表現力等】

「島 よくある物語」の内容を自身に置き換えて、ジブンゴトとして考えて、考えを発表できたか。（ワークシート）

### 【学びに向かう力】

他者の考えを傾聴し、その考え方を尊重しつつ、自身の考えを深めることができたか。（ワークシート）

## 10. 学習方法および外部との連携

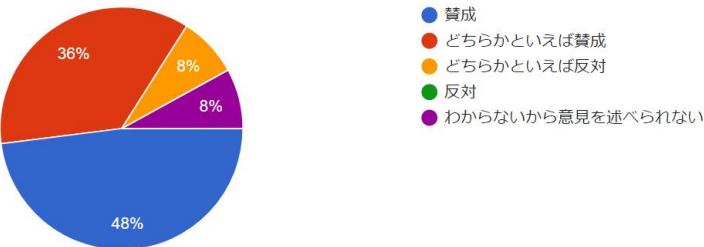
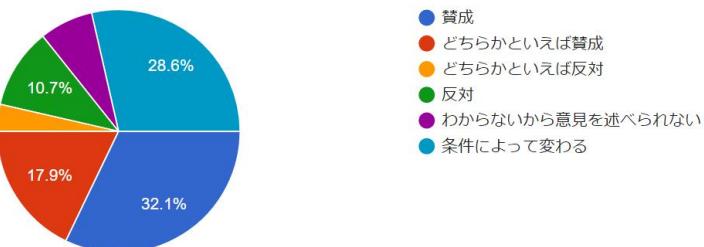
外部との連携は今回していないが、ゲストスピーカー等を呼ぶとより学習効果が期待できると考えている。

今回は考えの共有を軸としており、答えのないに対しての多種多様な考えに触れ、自身の考えが揺さぶられることに大きな意義があると感じている。

## 11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

学校外では特に行っていない。学校内では昨年度の教師海外研修の授業実践内容を共有したり、SDGsを広める取り組みをしている。

### 【自己評価】

12. 苦労した点	<p>苦労した点は大きく分けて3つある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 難民問題に全く関心がない生徒への対応</li> <li>2. 学習前の難民問題に対する知識の差</li> <li>3. 「遠い国で起こっている他人事」という意識が抜けない（ジブンゴト化できていない）</li> </ol>																										
13. 改善点	<p>上記の苦労した点を以下のように改善していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本時の「島 よくある物語」を用いた授業の前に、難民問題に対するより具体的で深い学びを行う。</li> <li>2. 最終的にはロールプレイを行うなどして、本質的な部分まで思考させたい。</li> </ol>																										
14. 成果が出た点	<p>以下のグラフより、①に比べ、②では反対意見が多くなった。「島 よくある物語」の内容や他の意見を聞いて、考えの深化や変容が見て取れた。</p> <p>①1回目の授業終了時に行った難民受け入れに関するアンケート結果</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば賛成</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば反対</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>わからないから意見を述べられない</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②2回目の授業終了時に行った難民受け入れに関するアンケート結果</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>32.1%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば賛成</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば反対</td> <td>17.9%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td>わからないから意見を述べられない</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>条件によって変わる</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Percentage	賛成	48%	どちらかといえば賛成	36%	どちらかといえば反対	8%	反対	8%	わからないから意見を述べられない	8%	Response	Percentage	賛成	32.1%	どちらかといえば賛成	28.6%	どちらかといえば反対	17.9%	反対	10.7%	わからないから意見を述べられない	8%	条件によって変わる	8%
Response	Percentage																										
賛成	48%																										
どちらかといえば賛成	36%																										
どちらかといえば反対	8%																										
反対	8%																										
わからないから意見を述べられない	8%																										
Response	Percentage																										
賛成	32.1%																										
どちらかといえば賛成	28.6%																										
どちらかといえば反対	17.9%																										
反対	10.7%																										
わからないから意見を述べられない	8%																										
条件によって変わる	8%																										

15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>以下のコメントは難民問題を学習する前と後での自身の考えを記した生徒の振り返りシートを抜粋したものである。</p> <p>「難民のことについては、中学の時などにも少し触れていて知ってはいましたが、実際どんな思いをしているのかなどについては考えたことも無く、今回の学習でどれだけ大変な思いをしてるか等を考え、難民に対する考えがかなり変わった。」</p> <p>「個人の問題だけど、皆んなの問題でもあった」</p> <p>「自分が物語の”男”であったら、”島民”であったら、”漁師”であったらと様々な立場で物事を考える必要があり、それは現実問題としても同じだと思った。」</p> <p>個々の難民問題に対する考え方の深さに差はあるものの、この授業を通して、一定の成果があつたものと考えられる。</p>
16. 授業者による自由記述	<p>本授業は様々な校種で実施できる汎用性が高いものとなっている。校種に応じて質問内容を変えることによって、実施可能である。</p> <p>今後も様々な絵本を教材として用いて、世界の諸問題を身近なものとして考えられるように指導していきたい。</p>

## 参考資料 :

※単元を構想、実施する上での教師のための参考資料、学習者のための参考資料、ウェブサイト、データリソースなどを紹介してください。